

「吉田おうえんたい」だより

第4号 平成28年11月25日(金) 吉田小学校

11月3日(木)・5(土)・6(日) 6年生 辰まつり 地域貢献(お手伝い)

4月に続いて、窯元会館からお手伝いのお話をいただきました。6年生が9名希望して参加いたしました。抽選の係、竹巻きパン焼き、レジ係で、お客さんとの交流ができました。小学生のお手伝いということで、温かく接していただきました。

学校としまして、地域貢献として活躍の場をいただけることは、とても有り難いことと考えています。このような経験をとおして、達成感や充実感から郷土に対する愛着が生まれてくることと思います。



【吉田窯元会館の玄関前】



【海外の方も来られました】



【くるくる回す抽選箱】



【ほかほかの手巻きパン】



【いらっしゃいませ。レジ係】

コラム 「ふるさとの記憶の価値基準」

吉田窯元会館に文学展示館があります。そこには、吉田出身の俳人の大串章氏、文学者の中島虎彦氏、小説家の前田珠子氏の作品が紹介されています。

その紹介の本の中で、中島虎彦氏が次のように述べられています。

「書き続けていられるのも、意外にも大串氏と同じく幼年時代にふるさとの野山や川辺で過ごした記憶が揺るぎない価値基準となって居座っているからなのである。だから少々の人工物に動じることはないし、都会人の郷愁として自然を詠うまでもない。」

「ふるさとの記憶が価値基準となっている。」とは、幼年時代の感性を大事にしたいということでしょうか。さらなる地域と共にある学校教育が重要であると思います。